

日本バウハウス協会
講演 (オンライン)
日本バウハウス協会会員は講演現地参加も可
2024年12月26日(木)
18:30-20:00

寺原 芳彦

C&R イームズ・デザインの ミクロとマクロ視点： ブロイヤー以降の進化と足跡



バウハウスでの椅子のデザインを進展させた M. ブロイヤーと同世代のデザイナーとして A. アールトと C. イームズがいました。今回はイームズのデザインについて講演します。C. イームズはレイ・イームズとともに、数々の椅子などの名品を生み出した世界的デザイナーであるばかりではありません。彼は、高校に通いながら鉄鋼所で働いていたことで図面力をはじめ、早くから天賦の才が芽生え、後年には多領域にわたる才覚者となり「ルネサンス人間」と言われました。私は、単に名作と呼ばれるアイテムを紹介するだけでなく、上記の観点から、図面などを通じて、イームズの発想やデザインコンセプトを読み解きます。イームズの映像、エキシビション、建築など多方面にわたる業績、エーロ・サーリネン、イサム・ノグチなどとの関係、日本への影響についても紹介します。

講師 寺原 芳彦 (てらはら よしひこ)

1943年、東京都生まれ。武蔵野美術大学名誉教授。チャールズ&レイ・イームズ研究者。インテリア・プロダクトデザイナー。上海同济大学、シカゴ美術館付属大学など海外大学で客員教授、交換交流教員を歴任。毎日 ID 賞、JID 賞 (日本インテリアデザイナー協会賞) など受賞。「チタニウムチェア」などがヴィトラ・デザインミュージアムに収蔵。著書に『イームズを読み解く：図面からわかった、その発想とデザイン』(誠文堂新光社)、『世界の名作椅子 40 選 うしろ姿から探る機能と美』(丸善出版)、『二軸の想』武蔵野美術大学展覧会の図録、共著に『インテリア・デザインを知る』(鹿島出版会)、監修に『インテリアデザイン』(武蔵野美術大学出版会) など多数。

主催 日本バウハウス協会 (お問い合わせ)
<http://nipponbauhaus.jp>
講演は無料 (Zoom)

講演申し込みは 2 次元コードまたは下記 URL
https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_DAj2KMjXSuui7jTb3VeAfA

